



外国語や手話などに対応する多言語通訳システムを導入 オールインワンの機能で、さらなる市民サービスの向上を目指します

本市は多言語通訳システム「KOTOBAL」を、6月から県内で初めて導入しました。

これにより、日本語でのコミュニケーションが難しい外国人や聴覚障がいのある人、聞こえに不安がある高齢者などの対応を円滑にし、来庁者の窓口利用における利便性の向上と行政事務の効率化を図り、デジタルを活用した窓口業務改革を推進していきます。

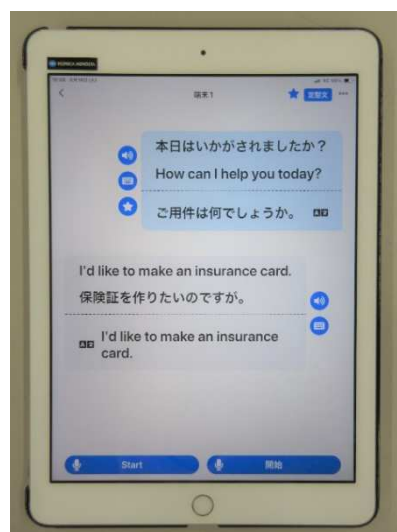


■ 多言語通訳システム「KOTOBAL」とは

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)の高度な音声翻訳エンジンを採用したAIによる「機械通訳(外国語31言語に日本語の音声筆談・やさしい日本語を加えた32言語対応)」と遠隔通訳者による「ビデオ通訳(外国語12言語+日本語の手話)」が一体となったコニカミノルタ㈱の開発商品です。

■ 「KOTOBAL」の特徴

- ◇行政用語に対応し翻訳が的確…機械通訳は行政・自治体用語に対応。複雑な制度や申請などの説明の翻訳が的確で、コミュニケーションエラーを防げる
- ◇AIによる機械通訳×ビデオ通訳×手話の3つの機能を一台に…それぞれ単体で対応する商品がありますが、同商品は、起動時や必要に応じてそれらの機能を画面操作で切り替えることが可能
- ◇ビデオ通訳(外国語12言語+日本語の手話)は、自治体での対応に豊富な経験を持つ通訳オペレーターが対応…機械通訳ではカバーできない親密なコミュニケーションがとれ、相談もスムーズに
- ◇ポータブルなタブレット端末で完結…窓口での手続きや訪問事業などさまざまな場面でのコミュニケーションのサポートが期待される



※窓口での取材を希望される場合は、事前に人権施策課にご連絡ください。

▲トーク画面(イメージ)

この件に関する報道関係からのお問合せ

生駒市人権施策課(課長 後藤) ☎0743-74-1111(内線4350)